

R6 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	外国語・英語コミュニケーションⅢ(普・理)	単位数	4	担当者	守田・河上
---	----	-------	-----------------------	-----	---	-----	-------

1. 教科書・副教材

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 : Heartening English Communication Ⅲ (桐原書店) ・副教材 : ALL EARS Pre-Advanced (美誠社) 大学入学共通テスト対策・オリジナル問題 共通テスト英語 40分プレート (数研出版) 共通テスト直前演習英語 (リーディング) 80minutesx7 (ラーンズ) 大学入学共通テスト (英語リスニング) 対策オリジナル問題集 Listening 30

2. 科目の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで学んできた英語の4技能を踏まえ、各題材において、様々なコミュニケーションの形を通し、自分自身の感想や意見を表現する能力に磨きをかける。意見交換などを通し様々なものの見方を知り、新たなものの見方を育む。 ・ 様々な題材について英語で聞き、読むことによって、世界の出来事に目を向けさせ、多様な価値観を養う。
--

3. 学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考査範囲
前期	4月	Lesson1 What Makes Up Your Identity?	<ul style="list-style-type: none"> ・L 対話 ・R 記録文 	70	既習範囲
	5月	Lesson2 Predicting Future Technology	<ul style="list-style-type: none"> ・L 講演 ・R 説明文 		
	6月	Lesson3 The Science of Sleep	<ul style="list-style-type: none"> ・L インタビュー ・R 論証文 		既習範囲
	7月	Lesson4 Diversity and Inclusion	<ul style="list-style-type: none"> ・L 2つのニュース ・R 意見文 		
	9月	Lesson5 Protein Crisis	<ul style="list-style-type: none"> ・L 対話 ・R 説明文 		
後期	10月	Lesson6 Different Types of Happiness	<ul style="list-style-type: none"> ・L ニュース ・R 3つの説明文 	70	既習範囲
	11月	Lesson7 Pros and Cons of Utilizing AI	<ul style="list-style-type: none"> ・L ディベート ・R 説明文 		
	12月	Lesson8 Kintsugi: The Art of Embracing the Imperfect	<ul style="list-style-type: none"> ・L インタビュー ・R 2つの説明文 		既習範囲
	1月	Lesson9 Getting Your Message Across	<ul style="list-style-type: none"> ・L 講演 ・R 論証文 		
	2月	Lesson10 Medical Ethics During a Pandemic	<ul style="list-style-type: none"> ・L 3人の会話 ・R 記録文と説明文 		
3月	Real Life English 1~4 Reading Three Questions	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ 			

4. 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	英語の知識・技能の理解を深め、それらを実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できるか	定期考査、単語テスト、小テスト
思考・判断・表現	外国語で話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝え合ったりすることができるか	定期考査、その他の表現活動(例:プレゼンテーション) … 別途授業内で指示します
主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習に取り組んでいるか。外国語の背景にある文化を理解し、自ら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか	提出物、授業での様子(出席、発言、ペアワーク、グループワーク)忘れ物の有無、授業外で英語を学習する姿勢

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

今まで積み上げたものを発揮できるよう積極的に言語活動に取り組みましょう。

R 6 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	外国語・論理・表現 I (専門科)	単位数	2	担当者	大塚
---	----	-------	-------------------	-----	---	-----	----

1. 教科書・副教材

<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 : Standard Vision Quest English Logic and Expression (啓林館) ・副教材 : Vision Quest 総合英語 (桐原書店)、Vision Quest 論理・表現 I Standard Workbook (啓林館)

2. 科目の目標

英語の4技能（読む、聴く、書く、話す）を総合的に身に付け、基本的な文や語句を用いて、情報・意見・考えなどをロジカルに、わかりやすく英語で表現する能力を身につける。

3. 学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲
前期	4月	Lesson1 I want to introduce my new friend.	文の種類	35	既習範囲
	5月	Lesson2 Do you want to join our show?	文型と動詞		
	6月	Lesson3 I'm planning a day trip this weekend.	時制		既習範囲
	7月	Lesson4 Have you ever tried it before?	完了形		
	8月	Lesson5 What do you want to do after high school?	助動詞		
	9月	Lesson6 Did you hear about the new shop?	受動態		
後期	10月	Lesson7 I'm happy to have you with us.	不定詞	35	既習範囲
	11月	Lesson8 What sports do you like playing?	動名詞		
	12月	Lesson9 Digital media has come a long way.	分詞		既習範囲
	1月	Lesson10 That's why I decided to go back.	関係詞		
	2月	Lesson11 Which do you prefer, cheaper beans or more expensive ones?	比較		
	3月	Lesson12 I think it's a good idea.	仮定法		

4. 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けているか	定期考査
思考・判断・表現	外国語で話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、また、論理的に表現することができるか	定期考査、定期考査以外のライティング・スピーキングテスト（別途指示します）、ペアやグループの発表など
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか	提出物、授業での様子(出席、発言、ペアワーク、グループワーク)・忘れ物の有無

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

失敗を恐れず、学習していきましょう。Practice makes perfect!!!

R 6 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	外国語・論理・表現Ⅲ(普・理)	単位数	2	担当者	守田・河上・大塚
---	----	-------	-----------------	-----	---	-----	----------

1. 教科書・副教材

・教科書 : Vision Quest English Logic and ExpressionⅢ (啓林館) ・副教材 : Next Stage 英文法・語法 (桐原書店) Next Stage 英文法・語法問題 Best Trainer (桐原書店)
--

2. 科目の目標

・論理的な思考力を身につけ、論理の展開や表現方法を工夫する能力を磨く。また、これまで学んできた英語の知識を踏まえたうえで、4技能5領域のうち「話す(やり取り)」「話す(発表)」「書く」といった英語のアウトプットを強化する。

3. 学習の計画

	学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲	
前期	4月	Lesson 1 Friendship and improvement	35	既習範囲	
	5月	Lesson 2 Which is better, a paper or an electronic dictionary?			「助言」の表現を身につける
		Lesson 3 Can you change your personality?			「譲歩」の表現を身につける
	6月	Lesson 4 How do we make decisions?			「関係」の表現を身につける
		Lesson 5 Online doctor consultations			「判断の根拠」の表現を身につける
	7月	Lesson 6 Healthy lifestyle			「代替」の表現を身につける
		Lesson 7 What do you do after school?			「結果」の表現を身につける
	8月	Lesson 8 Direct and indirect ways of communication			「物事への正負の影響」の表現を身につける
		Lesson 9 Should we use social media?			「差異」の表現を身につける
	9月	Lesson 10 Are you a good user of social media?			「理由」の表現を身につける
後期	10月	Lesson 11 Lifetime employment or career changes?	35	既習範囲	
	11月	Lesson 12			「可能性」の表現を身につける
		Lesson 13 Diversity in the workplace			「情報の追加」の表現を身につける
	12月	Lesson 14 The rise of the cashless society			「対照」の表現を身につける
		Lesson 15 The gap is widening.			「意見」の表現を身につける
	1月	Lesson 16 What can we do to solve global warming?			「変化」の表現を身につける
		Lesson 17 Saving the earth from plastic waste			「要約・結論」の表現を身につける
	2月	Lesson 18 Innovations in machine translation			「目的」の表現を身につける
		Lesson 19 Technological changes in agriculture			「例示」の表現を身につける
	3月	Lesson 20 Just knowing about SDGs is enough?			「情報源」の表現を身につける
	Lesson 21 Importance of education	「義務」の表現を身につける			

4. 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	英語の表現や文法などの理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションの場面でそれらを活用できる技能が身に付いているか	定期考査
思考・判断・表現	話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、目的や場面、状況などに応じて適切に表現したりすることができるか	定期考査、ライティング、スピーキング
主体的に学習に取り組む態度	主体的に学習内容を学びとろうとしているか、また、自律的にコミュニケーションを図ろうとしているか	授業中の発言、行動の観察

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

日々の学習の積み重ねが英語力向上につながります。言語活動においては失敗を恐れず、表現してみましょう。
--

R6 年度 学習の手引き（シラバス）

3	学年	教科・科目	外国語・応用英語(理)	単位数	2	担当者	大塚
---	----	-------	-------------	-----	---	-----	----

1. 教科書・副教材

改訂版 アップリフト英語長文読解 入試演習3、(Z会)

2. 科目の目標

・難易度の高い英文に対し、問われていることを素早く見つけ出す力を養う。英作文を行い、覚えた表現を使いこなせるようにする。
--

3. 学習の計画

		学習項目	学習のねらい	時数	考查範囲
前期	4月	Unit 1～ Unit 2	旅行、環境、心理学等の英文を扱い、読解を深める。	35	左記学習事項の範囲
	5月				
	6月	Unit 3～ Unit 4	宇宙、言語、商業等の英文を扱い読解を深める。		左記学習事項の範囲
	7月	※英作文の練習はプリントを使って行う。 語順整序練習・短文の英作文練習。	英語の語順に習熟し、短い英文が書けるようにする。		
	8月				
9月					
後期	10月	Unit 5～ Unit 6	健康、工業、科学技術等の英文を扱い読解を深める。	35	左記学習事項の範囲
	11月	Unit 7～ Unit 9	社会、医療等の英文を扱い読解を深める。		
	12月		Unit 10～ Unit 12		それぞれの問題のポイントをおさえる。
	1月	英作文：少し長い文の英作文練習。私大入試問題の英作文に類する問題演習。	入試英作文のポイントをおさえる。		
	2月				
	3月				

4. 評価の方法・観点

	評価の観点の趣旨	主な評価方法
知識・技能	英語の知識・技能の理解を深め、それらを適切に伝える力があるか。	定期テスト、単語テスト
思考・判断・表現	情報を適切に思考し理解したり、表現したり伝え合ったりすることができるか	定期テスト、音読テスト、プレゼンテーション、その他の表現活動(別途授業内で提示します)
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化を理解し、自ら外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか	提出物、授業での様子(出席、発言、ペアワーク、グループワーク)・忘れ物の有無

5. 学習にあたっての注意とアドバイス

予習を必ず行い、自分のわからない点を明確にして授業に臨む。復習によって理解・知識の定着をはかる。
--